

南仏事件情報（2016年2月）

（1）殺人

● 復讐（4日、BdR県）

4日21時25分ごろ、マルセイユ市11区のショッピング・モール「Grand V」の駐車場で、1台の車が、カラシニコフやショットガンによる30発以上の銃撃を受け、乗車していた2名が死亡した。被害者は、マルセイユ北部のシテに住む31歳と26歳の男性。襲撃者は3人で運転手1人で、現場から逃走している。

● またしてもカラシニコフ（8日、BdR県）

8日20時ごろ、マルセイユ市13区のパン屋やタバコ店が立ち並ぶ人気の多い通りで、39歳の男性がカラシニコフによる2発の銃撃を受けて死亡した。犯人は、車両に乗った少なくとも2人組だとされている。

● 妻を殺害（27日、ガール県）

27日正午ごろ、アレス市で、現職の警察官が元妻を殺害した。警察官は34歳で、ガール県で勤務している。目撃者によると、犯人は元妻の車の後をつけ、頭に向けて3発発砲し、車内から子供を奪って逃走した。その後、警察官は職場の上司にけん銃を差し出し、犯行を自供した。犯行に使用したけん銃は、仕事用に貸与されているものだった。

（2）その他特異事件等

● 市役所と小学校が放火被害（5日、コルス・デュ・シュッド県）

5日、タヴラ市で、市役所と小学校が放火され、大きな損害を受けた。

● 警察官をナタで脅迫して制圧される（7日、アルプ・マリタイム県）

7日18時30分ごろ、サンタニエ市で、パトカーとのカーチェイスの末、警察官をナタで脅迫した35歳の男が警察官からの銃撃を受けて死亡した。男は精神的に問題を抱えており、5年前にも同様に警察官を斧で脅して発砲されて怪我をしていた。男は、警察の検問を突破したことでパトカーからの追跡を受け、他の車両と正面衝突して警察から取り囲まれた後、車の中からナタを取り出し、警察官に襲いかかろうとした。警察官は男に発砲し、3発が命中した。

● 銃撃で男性1名が生死をさまよう（7日、B d R県）

7日16時30分ごろ、マルセイユ市15区の駐車場で、19歳の男性が4人の覆面を被った男達から襲撃された。被害者が乗っていた車は、10数発がフロントガラスや運転席の窓ガラスを貫通した。被害者は胸に弾丸を受け、病院に搬送されたが重態である。犯行に使用された車両は、16区で乗り捨てられ放火されているのが発見された。車内からは、けん銃と自動小銃、カラシニコフが発見された。

● ガソリンスタンドで強盗（10日、B d R県）

10日、マルセイユ市の複数のガソリンスタンドで強盗が連続発生した。18時10分ごろ、10区にあるスーパー「AUCHAN」のガソリンスタンドで、60代の女性が給油中、スクーターに乗った2人組の覆面強盗から銀行のカードを奪われた。20分後、11区にあるスーパー「CASINO」のガソリンスタンドで、47歳の女性が暗証番号を盗み見られた後カードを強奪された。同女性は、直後に口座から1,000ユーロ引き出されたと申し立てている。

● カジノ強盗発生、警察が行方を追う（13日、B d R県）

13日午前2時ごろ、エクス・アン・プロヴァンス市のカジノで、4人の武装した男が強盗に入った。強盗は、2発の威嚇射撃を行い、レジから5,000ユーロとコイン数百枚を奪い、80代の客からバッグを奪い、わずか2分30秒で逃走した。当時カジノにいた客は、バタ克蘭を連想してパニックになり、約15人が軽い怪我をした。犯行に使われた車両は、2月上旬にマルセイユ市で盗まれたもので、犯行後マルセイユ市北部で乗り捨てられ放火された。

● コルシカで新たな衝突、緊張が高まる（16日、オート・コルス県）

16日、コルテ市で、200人ももの群衆が郡庁付近に集まり、「FLN、FLN」と合唱し、50人の覆面をした集団が治安部隊に向かって火炎瓶を投げつけた。治安部隊が催涙弾等で応酬し、現場には火災が発生するなどして、騒ぎが収束するのに1時間半を要した。憲兵隊員1名が軽い怪我をした。前日の15日にも、同じ集団が憲兵隊事務所の前で実施したデモが暴徒化し、2人が拘束された。14日には、バステティア市でSCバステティアのサポーターが警察署の前に集まって暴徒化した。

● 郵便局員が誘拐（16日、BdR県）

16日、ロニャック市で、マルセイユ15区にある郵便局の営業部長が、通勤するために自宅を出たところを5人の男から誘拐された。被害者は勤務先の郵便局に連れてこられたが、すでに数年前から局職員は金庫を開けることができなくなっていたことから、強盗は現金を手にする事ができず、逃げ去った。この郵便局は、3年前にも局長が誘拐され暴行を受けた。BdR県には211の郵便局があり、2014年には3回強盗が発生し1回既遂、2015年には2回発生したがいずれも未遂に終わっている。

● 身元不明の遺体が発見（19日、BdR県）

19日、ラ・シオタ市郊外の廃屋から、女性の遺体が発見された。散歩をしていた住民が発見して通報した。遺体は大人の女性で、中肉中背、年齢20～50歳くらいとされ、複数の骨折が認められた。死後約2週間経過しており、当局は女性の身元を調査している。

● 銀行ATMが爆破される（19日、BdR県）

19日3時10分ごろ、エクス・アン・プロヴァンス市で、銀行が爆破された。爆破はガスの混合物によるもので、銀行のショーウィンドウは爆破され、屋内にも大きな被害を及ぼした。しかし、ATMの金庫は損壊しなかったことから、強盗は何も盗らずに逃走した。ヴァール県サン・マクシマン市とル・ミュイ市でも同じような形態の犯行が発生している。

● スーパーに強盗（19日、BdR県）

19日7時ごろ、マルセイユ市10区にあるスーパー「リーダー・プライス」に、2人組のけん銃で武装した覆面強盗が押し入り、3,000ユーロを奪って逃走した。

● ニースで乱闘、4人負傷（20日、アルプ・マリタイム県）

20日17時30分ごろ、ニース市東部で、複数の乱闘が同時に発生して4人が負傷した。負傷者のうち1人は肝臓に、1人はくるぶしに銃弾を受け、残りの2人は胸をナイフで刺された。当局は、関係場所を捜索するなどして全容を解明中。

● 不可解な銃撃（21日、BdR県）

21日20時ごろ、マルセイユ市14区で、報復目的と思われる銃撃事

件が発生した。カラシニコフの銃弾が車両のフロントガラスと運転席を貫通したが、幸いにも運転席には誰もいなかった。その他の車両からも弾痕が発見された。

● 建物内で爆発後火災（21日、オート・コルス県）

21日午後、バスティアの中心部で、改装中の建物内で爆発が発生し、その後火災となった。建物からは、焼夷弾2個が発見され、そのうちひとつが爆発したことが確認された。現在までのところ、被害は確認されていない。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。